

## 学位論文審査の結果の要旨

金 賢一

本研究は、セイヨウチャヒキ (*Avena strigosa*) が生産する根寄生植物種子発芽刺激物質の構造解析と、代表的な発芽刺激物質であるストリゴラクトン (SL) の発芽刺激活性発現における構造要求性を検討したものである。その結果、セイヨウチャヒキの生産する、SL とは構造的に異質な新しいタイプの発芽刺激物質である avenaol の単離・構造決定に成功した。また、天然および合成 SL の 2 種類の根寄生植物 *Orobancha minor* と *Phelipanche ramosa* の種子に対する発芽刺激活性の詳細な解析から、これらの根寄生植物の種子発芽における構造要求性の類似点と相違点を明確にした。以上の知見は根寄生植物の宿主認識機構の解明研究および関連する天然物化学研究の発展に大きく寄与するものである。

以上のように、本論文は多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は全員一致して、本論文が博士 (農学) の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。